

RYUSHI vol. 3 「古代オリエント①メソポタミア諸国家」

Cf.) 読本 pp. 16-20

タペストリーpp.54-55

1. オリエント世界の風土と人々

○(1) **オリエント**[orient] (羅「日の昇るところ；東方」)：メソポタミア、エジプト一帯

→文明の発達：大河周辺の(2) **灌漑農業**を原動力に繁栄

▲(3) **神権政治**[theocracy]：多数の住民を組織・動員するために宗教的権威を利用

・(4) **メソポタミア**[Mesopotamia] (希「川の間の土地」)：(5) **ティグリス川**

(6) **ユーフラテス川**流域

▲(7) 「**肥沃な三日月地帯**」：シリア・パレスチナ～メソポタミア一帯；灌漑農業で発展

→(8) **塩害**：農業は徐々に衰退

▲国家・王朝の激しい興亡：アラビア半島、アナトリア、中央アジアから諸民族が流入

・古代(9) **エジプト**[Egypt]：ナイル川流域

▲(10) 「**エジプトはナイルのたまもの**」(11) **ヘロドトス**(12) 『**歴史**』

.....ナイル川の定期的氾濫が肥沃な土をもたらす

▲長期の安定した文明：砂漠、海、ナイル川に囲まれた天然の要害

2. シュメール人の都市国家

○(13) **シュメール人**[Sumerians]：(14) **メソポタミア南部**地域に最古の都市文明を築く

・民族・言語系統不明

・(15) **都市国家**[city state] (都市＋周辺村落)：前 2700 年頃までに複数形成

Ex.) (16) **ウル**、(17) **ウルク**、ラガシュ、ウンマ

▲階級社会：治水・灌漑による生産力背景に職業分化；王・神官・役人・戦士＝支配階級

▲神殿・王宮：都市神の権威を背景とした神権政治の中心

▲(18) **ジグurat**[Ziggurat]：都市神を祀る聖塔

・(19) **ウル第3王朝**：アッカド人による征服後、再びメソポタミア全土を統一

▲ウル＝ナンム王：現存する最古の法典編纂；ウルのジグurat建設

・シュメール文化：(20) **太陰太陽暦**、(21) **六十進法**、週 7 日制、シュメール法

▲ティグリス川、ユーフラテス川の氾濫予測、統治に関わる発明

▲(22) **楔形文字**：(23) **粘土板**に刻む；言語が異なる他の民族も使用

Ex.) (24) 『**ギルガメシュ叙事詩**』：ウルク王の冒険描く；「ノアの洪水」神話の起源

3. メソポタミアの統一と周辺地域の動向

○(25) **アッカド人**[Akkadians]：アラビア半島から(26) **シュメール北**に移住

・(27) **アッカド語** (東セム語系)：古代オリエント世界の共通語へ

・(28) **サルゴン 1 世** (初代)：メソポタミア初統一、(29) **領域国家**形成

・ナラム＝シン (4 代)：(30) **アッカド王国**最大版図

○(31) **アムル人**[Amurrites] : セム語系 ; 前3千年紀末にメソポタミアに侵入、ウル第3王朝滅亡

→(32) **古バビロニア王国**[バビロン第1王朝] (前19c-前16c) : 都=(33) **バビロン**

(メソポタミア南部)

・(34) **ハンムラビ王** (6代) : メソポタミア全土を統一、中央集権国家確立

▲(35) **ハンムラビ法典** : 刑法、民法等 282 条 ; 国家による司法権の行使で治安維持

△(36) **復讐法**[同害復讐] : 「(37) **目には目を、歯には歯を**」 (≠個人的復讐)

△(38) **身分法** : 身分によって刑罰に差

※ウル第3王朝のウルナンム法典などシュメール法継承

▲運河建設 : 治水、灌漑事業を推進

○諸王国並立

①(39) **ヒッタイト人**[Hittites] : 東部(40) **アナトリア高原** (現在のトルコ) に定住

・(41) **インド=ヨーロッパ[印欧]語系**

・強大な軍事力 : はじめて本格的に(42) **鉄製武器**を使用 (技術独占) ; 馬にひかせた(43) **戦車**

→(44) **ヒッタイト王国** (前17c-前12c) : 都=(45) **ハットウシャ**[現ボアズキョイ]

▲メソポタミア遠征 : バビロン第1王朝を滅亡させるも撤退

▲(46) **カデシュの戦い** (前1286) : エジプト新王国とシリアを巡って争う (引き分け)

▲(47) **「海の民」** により滅亡 : 鉄器技術拡散、オリエントの鉄器時代へ

②(48) **カッシート人**[Kassites] : 前16c初頭、(49) **バビロニア** (メソポタミア南部) に侵入

・民族、言語系統不明

→(50) **カッシート王国**[バビロン第3王朝] (前16-12c) : 都=バビロン

▲(51) **エラム人**の攻撃で滅亡

③(52) **フルリ人**[Hurrians] : メソポタミア北部～北シリアを支配

・民族系統不明 (コーカサス諸語系?)

→(53) **ミタンニ王国** (前16c-14c)

▲ミタンニ人 (外来の支配層) とともに形成

▲ヒッタイトに服属 (前14c) ; アッシリアが独立し、のち併合される

☆主要な略語一覧 : 外国語編

・ cf.) : 「～を参照せよ」 (羅 confer) ・ ex.) 「例」 (英 example)

・ p. / pp. : 「ページ」 (英 page[s]) ※複数ページの場合 pp. を使うことがある。

▲ ex.) cf.) 読本 pp.16-23 「例 : 読本 16～23 ページを参照せよ」

・ ○○c : 「○○世紀」 (英 century) ※ 1 世紀 = 西暦 1 年-100 年、10 世紀 = 901 年-1000 年、

21 世紀 = 2001 年-2100 年 ; 前 1 世紀 = 前 100 年-前 1 年

※ 千年紀 [millennium] : 1000 年を 1 単位とする ; 前 3 千年紀 = 前 3000 年-前 2001 年

RYUSHI vol. 3 「古代オリエント①メソポタミア諸国家」

Cf.) 読本 pp. 16-20

タペストリーpp.54-55

1. オリエント世界の風土と人々

- (1) _____[orient] (羅「日の昇るところ；東方」)：メソポタミア、エジプト一帯
→文明の発達：大河周辺の(2) _____を原動力に繁栄
- ▲(3) _____[theocracy]：多数の住民を組織・動員するために宗教的権威を利用
- ・(4) _____[Mesopotamia] (希「川の間の土地」)：(5) _____
(6) _____流域
- ▲(7) _____：シリア・パレスチナ～メソポタミア一帯；灌漑農業で発展
→(8) **塩害**：農業は徐々に衰退
- ▲国家・王朝の激しい興亡：アラビア半島、アナトリア、中央アジアから諸民族が流入
- ・古代(9) _____[Egypt]：ナイル川流域
- ▲(10) **「エジプトはナイルのたまもの」** ((11) **ヘロドトス** (12) **『歴史』**)
.....ナイル川の定期的氾濫が肥沃な土をもたらす
- ▲長期の安定した文明：砂漠、海、ナイル川に囲まれた天然の要害

2. シュメール人の都市国家

- (13) _____[Sumerians]：(14) _____地域に最古の都市文明を築く
- ・民族・言語系統不明
- ・(15) _____[city state] (都市+周辺村落)：前 2700 年頃までに複数形成
Ex.) (16) _____、(17) _____、ラガシュ、ウンマ
- ▲階級社会：治水・灌漑による生産力背景に職業分化；王・神官・役人・戦士＝支配階級
- ▲神殿・王宮：都市神の権威を背景とした神権政治の中心
- ▲(18) _____[Ziggurat]：都市神を祀る聖塔
- ・(19) **ウル第3王朝**：アッカド人による征服後、再びメソポタミア全土を統一
▲ウル＝ナンム王：現存する最古の法典編纂；ウルのジグurat建設
- ・シュメール文化：(20) _____、(21) _____、週7日制、シュメール法
- ▲ティグリス川、ユーフラテス川の氾濫予測、統治に関わる発明
- ▲(22) _____：(23) _____に刻む；言語が異なる他の民族も使用
Ex.) (24) **『ギルガメシュ叙事詩』**：ウルク王の冒険描く；「ノアの洪水」神話の起源

3. メソポタミアの統一と周辺地域の動向

- (25) _____[Akkadians]：アラビア半島から(26) **シュメール北**に移住
- ・(27) **アッカド語** (東セム語系)：古代オリエント世界の共通語へ
- ・(28) **サルゴン1世** (初代)：メソポタミア初統一、(29) _____形成
- ・ナラム＝シン (4代)：(30) **アッカド王国**最大版図

○(31) _____ [Amurrites] : セム語系 ; 前3千年紀末にメソポタミアに侵入、ウル第3王朝滅亡
→(32) **古バビロニア王国** [バビロン第1王朝] (前19c-前16c) : 都=(33) **バビロン**
(メソポタミア南部)

- ・(34) _____ (6代) : メソポタミア全土を統一、中央集権国家確立
- ▲(35) _____ : 刑法、民法等 282 条 ; 国家による司法権の行使で治安維持
- △(36) _____ [同害復讐] : 「(37) _____」 (≠個人的復讐)
- △(38) **身分法** : 身分によって刑罰に差
- ※ウル第3王朝のウルナンム法典などシュメール法継承
- ▲運河建設 : 治水、灌漑事業を推進

○諸王国並立

- ①(39) _____ [Hittites] : 東部(40) _____ (現在のトルコ) に定住
- ・(41) **インド=ヨーロッパ[印欧]語系**
 - ・強大な軍勢力 : はじめて本格的に(42) _____ を使用 (技術独占) ; 馬にひかせた(43) **戦車**
- (44) **ヒッタイト王国** (前17c-前12c) : 都=(45) **ハットウシャ** [現ボアズキョイ]
- ▲メソポタミア遠征 : バビロン第1王朝を滅亡させるも撤退
 - ▲(46) **カデシュの戦い** (前1286) : エジプト新王国とシリアを巡って争う (引き分け)
 - ▲(47) **「海の民」** により滅亡 : 鉄器技術拡散、オリエントの鉄器時代へ

- ②(48) _____ [Kassites] : 前16c初頭、(49) _____ (メソポタミア南部) に侵入
- ・民族、言語系統不明
- (50) **カッシート王国** [バビロン第3王朝] (前16-12c) : 都=バビロン
- ▲(51) **エラム人** の攻撃で滅亡

- ③(52) **フルリ人** [Hurrians] : メソポタミア北部～北シリアを支配
- ・民族系統不明 (コーカサス諸語系?)
- (53) _____ (前16c-14c)
- ▲ミタンニ人 (外来の支配層) とともに形成
 - ▲ヒッタイトに服属 (前14c) ; アッシリアが独立し、のち併合される

☆主要な略語一覧 : 外国語編

- ・ cf.) : 「～を参照せよ」 (羅 confer) ・ ex.) 「例」 (英 example)
- ・ p. / pp. : 「ページ」 (英 page[s]) ※複数ページの場合 pp. を使うことがある。
▲ ex.) cf.) 読本 pp.16-23 「例 : 読本 16～23 ページを参照せよ」
- ・ ○○c : 「○○世紀」 (英 century) ※ 1 世紀 = 西暦 1 年-100 年、10 世紀 = 901 年-1000 年、
21 世紀 = 2001 年-2100 年 ; 前 1 世紀 = 前 100 年-前 1 年
※ 千年紀 [millennium] : 1000 年を 1 単位とする ; 前 3 千年紀 = 前 3000 年-前 2001 年